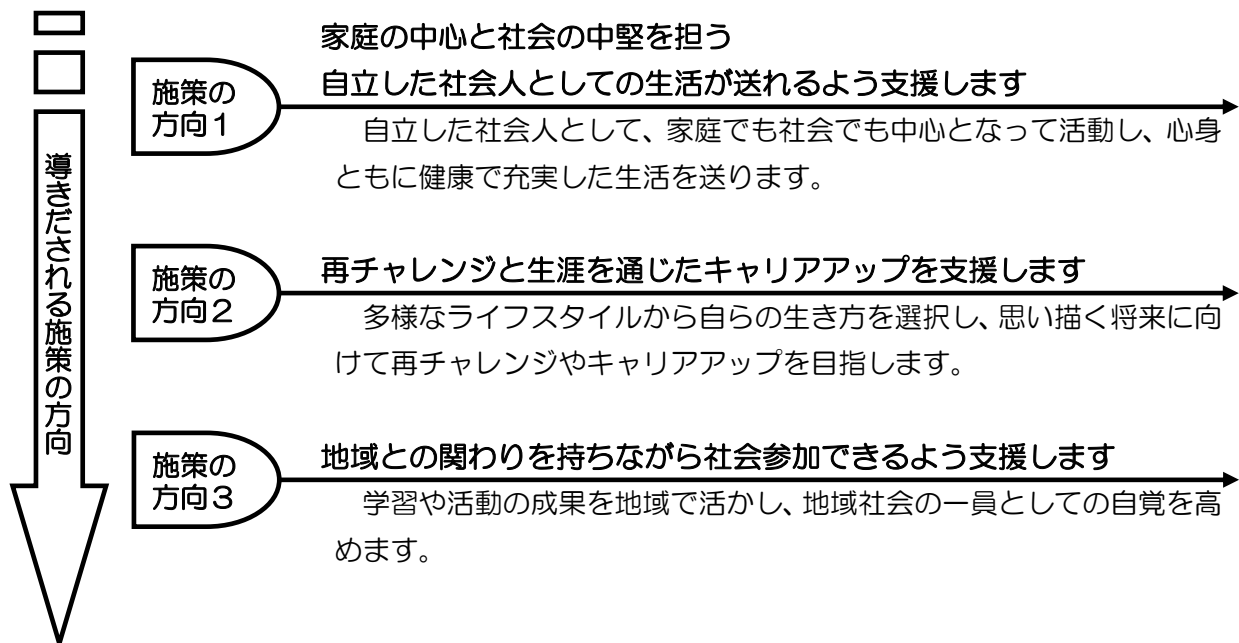


青年後期（23～39歳）

主な特徴

- ・生活や職業を通じて課題解決能力が向上します。
- ・成人として生活や仕事の中で社会規範や法令の遵守が求められます。
- ・自らの経験に即して芸術、文化等の理解が深まり、表現に反映されていきます。
- ・余暇を利用してスポーツやレクリエーションに親しみ、身体能力が向上します。
- ・心身の健康と安全に関する自己管理が確立されます。
- ・社会貢献活動の場を広げ、地域とのつながりを保ち、次代のまちづくりを担っていくことが求められます。
- ・職業人として基礎的な技能の定着と個別技能の向上、新たな技能の獲得が求められます。
- ・社会・経済のグローバル化への対応が求められます。
- ・精神的、社会的、経済的に自立していきます。
- ・自らの人生設計について考え、ライフスタイルが多様化していきます。
- ・子どもの誕生を機に、子育ての悩みなどを体験し、親として成長していきます。
- ・子どもの成長に合わせて、保護者会やPTAなどの活動に関わっていきます。



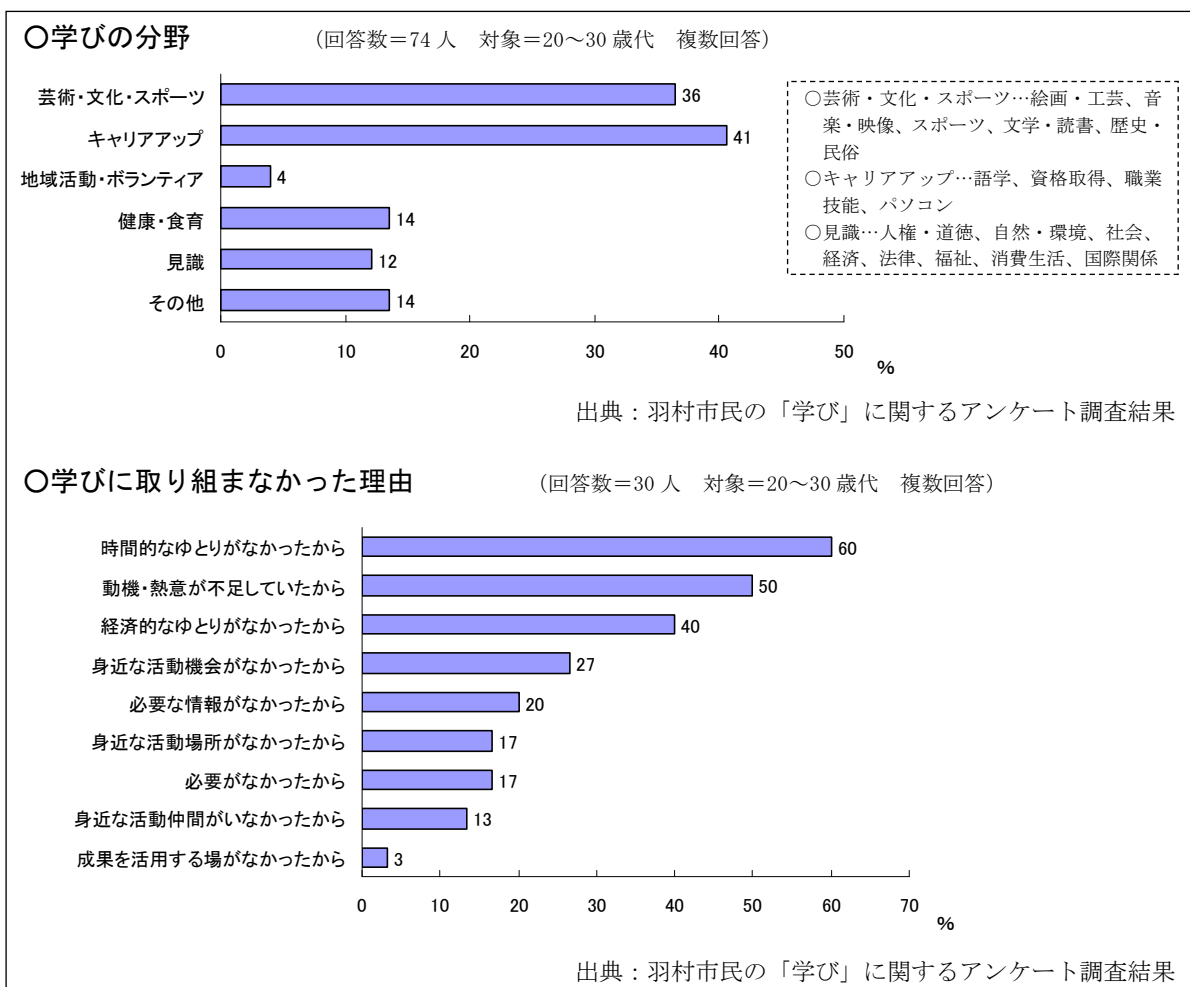
施策の **家庭の中心と社会の中堅を担う自立した社会人としての生活が送れるよう支援します** 方向1

現状と課題

- ①生活や人間関係の基盤が、学校から主に職場、社会へと移行し、仕事や生活に忙しく、時間的な余裕がなくなっていることから、豊かな情操と人間性を深めるため、気軽に芸術・文化・スポーツ活動に触れることができるよう支援していく必要があります。
- ②心身の変調や生活習慣病の兆候も一部では現れつつあることから、保健・栄養などの学習とスポーツやレクリエーションを通じて健康づくりに取り組む機会を提供し、自らの健康は自ら守ることができるよう支援していく必要があります。
- ③急速な社会の変化や突然に起こる災害などの中で、様々な課題が顕在化していることから、それらを理解し解決できる力を身につけ、心豊かな社会生活を営むことができるよう、学習の機会を提供していく必要があります。
- ④インターネットなどの情報媒体の多様化に伴い、これまでの情報提供の方法等を工夫していく必要があります。

【他のライフステージとの関連】

- ①子育てに熱心に取り組んでいる親がいる一方で、子育ての悩みを抱える親も多いことから、安心して子育てできるよう支援していく必要があります。【乳幼児期・少年期】



推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	芸術・文化・学習活動の推進 【現状と課題】対応No.①	芸術鑑賞事業や美術作品展等を通じて、豊かな情操と人間性を高めるとともに、手軽に気軽に楽しく参加できる講座や講習、大学との連携による専門性の高い講座などを開設し、社会人としての資質が深まるよう支援していきます。また、日ごろの学習や活動の成果が発揮できるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 1-3 少 1-5・5-3 青前 1-2 壮 1-1・10 高 1-6
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術鑑賞事業の実施 ・ 美術作品展の実施 ・ 体験講座等の実施 ・ 大学との連携による講座の充実 ・ 市民大学講座の充実 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	読書活動の推進 【現状と課題】対応No.①	幅広い蔵書の貸し出しを通じて、読書に親しみ、本からの感動や知識・技術を得ることによって、社会人としての資質が深まるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 1-4 少 1-4・5-5 青前 1-3 壮 1-11 高 1-7
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広いテーマの蔵書の充実 ・ 課題解決のための専門書の充実 ・ 体験講座等の実施 		

4 青年後期(23~39歳) 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	スポーツ活動の推進 【現状と課題】対応No.①	体育協会やはむら総合型スポーツクラブはむすぼ ^{*1} との連携・協力によって実施する様々なスポーツイベント等を通じて、スポーツの楽しさを体感するとともに、日ごろの学習や活動の成果が発揮できるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 1-2 少 3-1・5-4 青前 1-4 壮 1-12 高 1-8
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験講座等の実施 ・ はむら総合型スポーツクラブはむすぼ事業への参加促進に向けた支援 ・ 総合体育大会への参加促進 ・ 市民体育祭への参加促進 ・ 駅伝大会への参加促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	郷土学習の充実 【現状と課題】対応No.①	まちの礎を築いてきた先人たちの努力や自然について学び、ふるさと意識が郷土を愛する心につながるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 3-2 少 5-6 青前 2-4 壮 1-13 高 1-9
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展示・企画展の実施 ・ 体験講座等の実施 ・ 講演・講座の実施 ・ 登録郷土研究員制度^{*2}の活用と人材の育成 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	心と体の健康づくりの推進 【現状と課題】対応No.②	心の病気を理解し、健康に保つための心の健康づくりに関する講座や相談事業を行い、予防や適切な対応方法を身につけられるよう支援していきます。	【継続】 ↓ 乳 1-1 少 3-2 青前 1-5 青後 1-6 壮 1-14・15 高 1-1・2
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康なんでも相談」の実施 ・ こころの健康づくり講座の実施 		

*1 はむら総合型スポーツクラブはむすぼ：P2 参照

*2 登録郷土研究員制度：P91 参照

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
6	保健と運動を組み合わせた健康づくりの推進 【現状と課題】対応No.②	関係団体と連携して、保健・栄養などの学習と運動を組み合わせた健康づくり講座などを開催し、健康づくりを支援していきます。	【継続】 ↓ 乳 1-1 少 3-2 青前 1-5 青後 1-5 壮 1-14・15 高 1-1・2
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健と運動を組み合わせた健康づくり講座」(仮称)の実施<<新規>> ・「出前健康講座」の実施 ・健康・体力づくり事業の実施 ・はむら健康の日、健康フェアの実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
7	スポーツ施設機能の活用 【現状と課題】対応No.②	スポーツ施設における個人で利用できる機能の活用と公園スポーツ施設や学校施設における団体利用の促進を図り、自主的に健康・体力づくりを増進していくための支援を行います。	【継続】 ↓ 壮 1-16 高 1-3
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンター、スイミングセンターにおけるトレーニング機器の利用促進 ・スタジオプログラムの利用促進 ・公園スポーツ施設の利用促進 ・学校施設の利用促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
8	防災・交通安全・防犯に関する学習機会の充実 【現状と課題】対応No.③	防災・交通安全・防犯に関する知識や被害にあったときの対処方法を身につけることができるよう、学習機会の充実を図ります。	【継続】 ↓ 乳 1-6 少 1-6 青前 1-8 壮 1-4 高 2-1
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の実施 ・交通安全講習会の実施 ・防犯に関する情報提供と講習会の開催 		

4 青年後期(23~39歳) 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
9	環境学習の充実 【現状と課題】対応No.③	環境の負荷の少ない循環型社会を目指して、自然保護、地球温暖化の防止、ごみの減量化等をテーマにした学習や社会情勢に対応した学習などの機会を提供していきます。	【継続】 乳 3-2 少 1-8・5-7 青前 1-9 壮 1-5 高 2-6 ↓
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル観察会の実施 ・みどりの環境教室の実施 ・夏休み環境教室の実施 ・環境講演会の実施 ・エコ・チャレンジ“環境ファミリー”の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
10	消費生活に関する学習の充実 【現状と課題】対応No.③	消費者をめぐる様々な問題に対応できるよう、情報の提供、相談の充実、講座の実施を進めていきます。	【継続】 乳 1-1 少 3-2 青前 1-10 壮 1-6 高 2-2 ↓
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活講座の実施 ・消費生活相談の実施 ・消費者の日の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
11	男女共同参画社会の実現に向けた学習機会の充実 【現状と課題】対応No.③	男女共同参画の基本的な考え方が地域社会に浸透されるよう、広報活動による市民意識の啓発等を図るとともに、市民が主体的に推進できるよう支援していきます。	【継続】 青前 1-11 壮 1-7 高 2-3 ↓
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の発行 ・男女共同参画フォーラムの実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
12	人権尊重と世界平和思想の趣旨普及 【現状と課題】対応No.③	暴力や虐待の防止に向けて、人権意識を啓発するとともに、世界平和の意識が高まるよう学習機会を提供していきます。	【継続】 ↓ 少 2-1 青前 1-12 壮 1-8 高 2-4
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に合わせた意識啓発事業と相談の充実 ・人権関連相談の実施 ・平和の企画展の実施 			

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
13	市内産業等に関する学習機会の充実 【現状と課題】対応No.③	市内商業、工業、農業等の課題に対応するために必要な知識・技能を学習する機会の充実を図ります。	【継続】 ↓ 壮 1-2 高 2-7
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・製造業営業力・生産力等強化支援事業の実施 ・産業振興セミナー等の開催 ・農業後継者の育成に向けた支援 			

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
14	情報提供の充実 【現状と課題】対応No.④	インターネットなど情報媒体を有効に活用することによって、情報の提供や双方向によるコミュニケーションの充実を図ります。	【継続】 ↓ 青前 1-13 青後 2-2 壮 1-22 高 1-13
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング^{*1}を活用した学習情報の提供 ・インターネットを活用した生涯学習関連施設の利用及び事業参加申込 			

目標指標

	指標名	現 状	目 標 (平成28年度)
指標1	体験講座等の実施	—	生涯学習関連施設 全館で実施
指標2	一年間に芸術・文化・スポーツに関する学習活動を行った人の割合	36% (平成22年度)	80%

○指標2 羽村市民の「学び」に関するアンケート調査で、一年間に行った学びの分野について、絵画・工芸・音楽・映像・スポーツ・文学・読書・歴史・民俗の項目を挙げた20~30歳代の人の割合

*1 e-ラーニング：P87 参照

**再チャレンジと
生涯を通じたキャリアアップを支援します**

施策
の

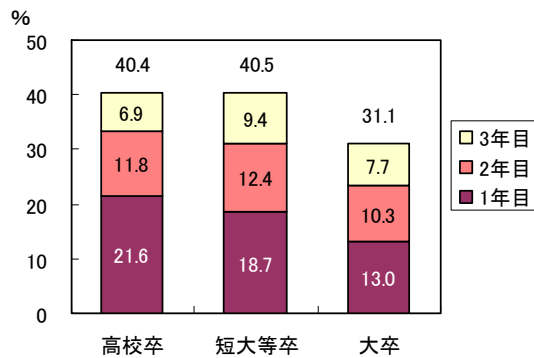
方向
2

現状と課題

- ①他の就労年齢層に比べて、離職率、失業率、非正規雇用率が高い割合にあることから、再就職や復学、新たな分野へのチャレンジに向け、必要な知識や能力を身につける機会を提供していく必要があります。
- ②学んだ成果を客観的に評価できるツールが少ないことから、その裏づけとなる資格の取得に向けた支援を行う必要があります。
- ③職場の不適応がきっかけとなり、ニート（若年無業者）や引きこもりにつながっていく現状を踏まえ、将来に向けた生き方や職業選択、再就職への心構えなどについて、個々の適性に合わせた支援を行っていく必要があります。
- ④障害のある若者が社会的・経済的に自立し、社会参加を果たしていくため、福祉的就労から一般就労に結びつくような学習機会を提供していくとともに、様々な人と交流する機会を設定していく必要があります。また、芸術・文化・スポーツ活動を通じて、一人ひとりの個性や能力が発揮できるよう支援していく必要があります。
- ⑤社会・経済のグローバル化に対応するため、国際的な感覚が身につくよう学習の機会を提供していく必要があります。

○新規学卒就職者の3年以内の離職率

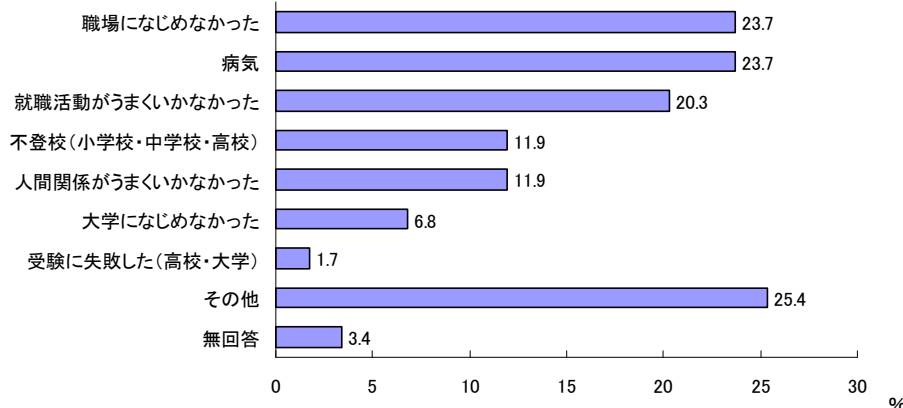
(対象=平成19年3月卒業者)



出典：今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申） 注釈関係資料（データ編）
中央教育審議会 平成23年1月

○ひきこもりの状態になったきっかけ

(回答数=59人 対象=15歳~39歳 複数回答)



出典：若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査） 内閣府 平成22年7月

推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	再チャレンジに向けた支援の充実 【現状と課題】対応No.①	商工会やハローワーク、青梅線沿線地域産業クラスター協議会※1等と連携・協力し、職業体験や就職説明会等の就職支援や起業に向けた講座の開催、求人情報の提供を行い、再就職や社会復帰を円滑にするための学習機会を充実します。	【継続】 ↓ 少 5-8 青前 1-7 【継続】 ↓ 少 5-8 青前 1-6 壮 1-19 ↓ 高 1-11
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業相談の実施 ・ 合同企業就職説明会の実施 ・ 就業体験に対する支援 ・ コミュニティビジネス※2等起業に向けた講座の実施 ・ 求人情報の提供 ・ 大学との連携による講座の充実 ・ 市民大学講座の充実 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	学習情報の提供の充実 【現状と課題】対応No.①②	大学公開講座・通信講座や(財)資格標準化機構※3が行う認証取得事業等の情報を提供するとともに、インターネットを活用し、学習情報を取得できる機会を提供していきます。	【継続】 ↓ 青前 1-13 青後 1-14 ↓ 壮 1-22 高 1-13
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学公開講座・通信講座等の情報提供 ・ e-ラーニングを活用した学習情報の提供 ・ (財)資格標準化機構の認証取得情報の周知と利用促進<<新規>> 		

※1 青梅線沿線地域産業クラスター協議会：P85 参照

※2 コミュニティビジネス：地域の課題を地域住民が主体的に、地域資源を活かしながら、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み。

※3 (財)資格標準化機構：資格検定を評価・認証することで、その質を保証するとともに、その資格検定を取得した者を学習の成果を持つ者として評価・保証し、広く社会で活用促進を図ろうとする組織。

4 青年後期(23~39歳) 施策の方向2

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	社会との関係を築きにくい若者に向けた支援の充実 【現状と課題】対応No.③	ニート(若年無業者)や引きこもりなど、社会生活を円滑に営むことが難しい若者に対応するため、公的機関等のネットワークを構築するなど支援の充実を図ります。	【継続】 青前 1-14 →
	主な計画事業		
	・「子ども・若者支援地域協議会 ^{※1} 」の設置<<新規>>		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	障害のある若者に向けた学習支援の充実 【現状と課題】対応No.④	可能な限り企業等への一般就労に結びつくような学習機会の提供を行うとともに、芸術・文化・スポーツ等を通じて、人との交流や社会参加を促進し、個性と能力が発揮できるよう支援します。	【継続】 乳 3-4 少 4-1 青前 1-15 壮 1-21 高 2-10 ↓
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者就労支援センター「エール」の利用促進 ・ 地域活動支援センター「ハッピーウィング」^{※2}の利用促進 ・ 障害者スポーツ・レクリエーションのつどい事業の実施 ・ 青年学級事業の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	国際理解と多文化共生 ^{※3} の推進 【現状と課題】対応No.⑤	世界情勢や外国事情の紹介、外国人や外国人市民との交流など、国際感覚が身につくような機会を設定し、国際社会の中で活躍できるよう支援していくとともに、外国の文化や習慣を持った市民が地域の中で共に生きていくための学習機会を充実します。	【継続】 少 1-7 青前 1-16 壮 1-9 高 2-8 ↓
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横田基地内の外国人との交流 ・ 外国人市民を講師とした国際理解講座の実施 ・ 外国人市民への日本語指導等の充実 		

※1 子ども・若者支援地域協議会：P87 参照

※2 地域活動支援センター「ハッピーウィング」：P88 参照

※3 多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

目標指標

	指標名	現 状	目 標 (平成28年度)
指標1	キャリアアップにつながる学習活動を行った人の割合	41% (平成22年度)	80%

○指標1 羽村市民の「学び」に関するアンケート調査で、一年間に行った学びの分野について、語学・資格取得・職業訓練・パソコンの項目を挙げた20~30歳代の人の割合

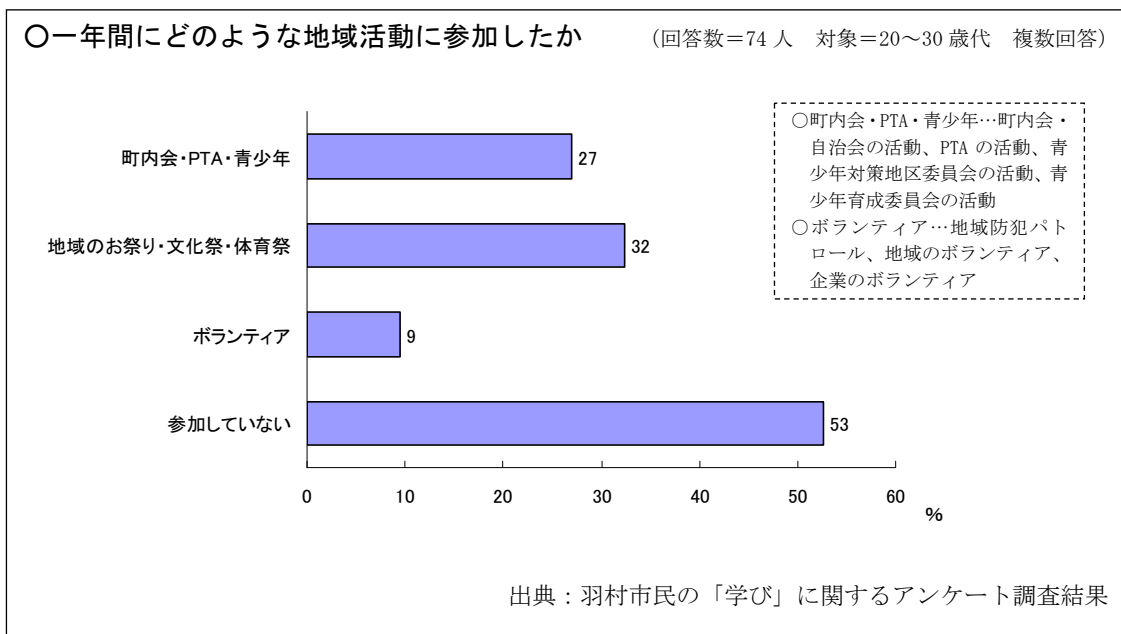
施策の **方向3**
**地域との関わりを持ちながら
 社会参加できるように支援します**

現状と課題

- ①日々の仕事や生活に忙しく、地域とのつながりが持ちにくい人もいることから、興味や関心の高い活動や子どもと共に楽しく参加できる活動をきっかけに、人との交流や地域のよさへの理解を深め、得られた知識やこれまでの経験を地域に活かすことができるよう支援していく必要があります。
- ②世帯の独立や転入、就職等を機に、町内会・自治会やPTA等の地域活動団体、ボランティア団体や社会教育関係団体等の市民活動団体などへの加入を呼びかけ、そこでの活動や勤務先などの活動を通じて、自らの知識や経験を活かすことができるよう支援していく必要があります。
- ③自主的なグループ活動を活発に行っている団体もありますが、成果を発揮できる機会が限られていることから、必要に応じて成果発表の場を提供していく必要があります。

【他のライフステージとの関連】

- ①子どもを介する活動から地域とのつながりが始まることも多いことから、保育園・幼稚園の保護者会やPTA活動、社会教育関係団体の活動を通じて、交流を深め、仲間をつくり、地域や社会に参画できるように支援していく必要があります。【乳幼児期・少年期】



推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	芸術・文化・スポーツ活動への参加促進 【現状と課題】対応No.①②	手軽に気軽に参加でき、興味・関心が高く楽しい活動を通じて、人とのつながりを深め、学習や活動の成果を地域で発揮できるよう支援していきます。	【継続】 ↓ 壮 2-1 高 3-8
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験講座等の実施 ・ 文化祭、体育祭の実施 ・ 社会教育関係団体との連携による講座・講習の実施 ・ はむら総合型スポーツクラブはむすぼ事業への参加促進に向けた支援 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	市主催事業への参加促進 【現状と課題】対応No.①②	誰もが楽しめるイベントとして、花と水のまつり、夏まつり、産業祭、ふるさと祭りなどを実施し、日ごろの学習や活動の成果を発揮する場となるよう支援します。	【相互関連】 ← 乳 1-5・3-2 【継続】 ↓ 青前 2-1 壮 2-2 高 3-9
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントへの参加促進 ・ 各種まつりの活用に向けたサークルや団体への参加促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	地域活動団体・市民活動団体の社会貢献活動に向けた支援 【現状と課題】対応No.②	地域活動団体や市民活動団体への加入を勧め、得られた知識や経験を社会貢献活動に活かせるよう働きかけていきます。	【継続】 ↓ 乳 1-6 少 2-3・5-1 青前 1-1・2-2 壮 2-6・7-8 高 3-1・2-3
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入時、出産時、子どもの入園・入学時等に合わせた団体紹介や加入勧誘の促進 ・ 地域活動団体や市民活動団体への加入促進 ・ 生涯学習まちづくり出前講座の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	社会教育関係団体への登録支援と文化・体育団体への加盟促進 【現状と課題】対応No.③	様々な団体やサークルに、社会教育関係団体への登録の呼びかけや必要に応じた文化協会・体育協会への加盟促進を行います。また、個人でも参加しやすいよう社会教育関係団体を紹介するなど、活動を通じて学習機会や成果を発揮できる場の提供を進めます。	【継続】 青前 2-5 ↓ 壮 2-4 ↓ 高 3-4
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体への登録支援 ・文化協会・体育協会への加盟促進 ・団体・サークルガイドの充実 ・文化祭、体育祭への参加促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	各種事業運営スタッフ等への参画促進 【現状と課題】対応No.④	地域とのつながりを深め、学習や活動の成果を発揮できるよう、各種事業運営スタッフ、各種実行委員会、行政の審議会等への参画を促していきます。	【継続】 ↓ 壮 2-5 ↓ 高 3-5
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、文化祭への参画促進 ・各種まつりへの参画促進 ・各種審議会への参画促進 ・事業推進ボランティア団体への支援と参画促進 		

目標指標

	指標名	現 状	目 標 (平成28年度)
指標1	構成員の7割が20~30代で構成されている社会教育関係団体の割合	—	全社会教育関係団体中 2割
指標2	一年間に地域活動に参加した人の割合	47% (平成22年度)	80%

○指標2 羽村市民の「学び」に関するアンケート調査で、一年間に地域活動に参加したと答えた20~30歳代の人の割合(地域活動:町内会・自治会、PTA、青少年対策地区委員会、青少年育成委員会、地域のお祭り、老人クラブ、文化祭、体育祭、地域防犯パトロール、地域ボランティア、企業ボランティア)